



すえひろ

平成26年度 第2号 (平成27年3月発行) www.suehiro-sizuoka.ednet.jp 生徒数：483名 家庭数：450名



百花繚乱～今、想い咲き乱れる～

「どんな時も一つになれる生徒会」

体育祭実行委員長 中村 陽介

「優勝したい」「自分の役割を全うしたい」など、体育祭にかける想いといふのは一人一人違うと思います。しかし、最終的に優勝という二文字を目標とするなら、全員が一つになって取り組むことが大切だと思います。第68期生徒会本部では、一年間にわたり「どんな時も一つになれる生徒会」を目指し、あいさつ・清掃・合唱をレベルアップする活動を行ってきました。そして、「自分からあいさつする姿」「汚れに気づき、黙って清掃する姿」「校歌に誇りをもって大きな声で歌う姿」の3つの姿を目標に、全校が高い意識をもって取り組んできました。こんなに大きな力をもっている末広生が、優勝という目標に向かって、三色に分かれて全力でぶつかり合います。そこで生まれる様々な感動、喜び、ドラマが生まれるとき、スローガンの「百花繚乱」のような体育祭になると思います。今まさに、この瞬間が始まろうとしています。

体育祭は生徒会本部の任期の中で、最後の行事となります。一年間、生徒会活動へのご理解ご協力ありがとうございました。一年間の全ての想いを出し切り、今までにない体育祭になると信じています。



体育祭

9月20日(土)



1年全体(台風の目)
～Big Typhoon Eye～



2年全体(二人三脚)
～私たち三脚関係～



『体育祭を振り返つて』

赤組団長 横山 聰一郎

自分が団長になると決まった時は、素直にうれしかったです。三年間の最後の体育祭で、自分が中心となり、応援を考え、みんなを引っ張っていくことは、とてもやりがいがありました。しかし、団長という立場は、決して楽なものではありませんでした。みんなのやる気を引き出し、良い応援、良い体育祭にするためには、仲間との協力が必要でした。赤組の応援団員をはじめ、クラスメイトや赤組の仲間たちに支えられ、僕は団長として最後までやりとげられることができました。優勝はもちろん嬉しいことでしたが仲間たちと友情を深めることができ最高の体育祭でした。



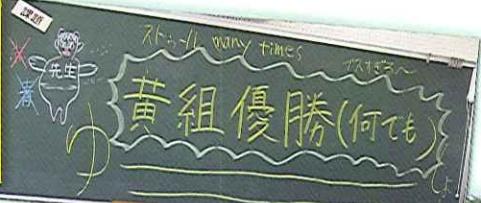
青組団長 山口 拓海

自分たちが中心となって行う体育祭とあって、本番はもちろん、練習から本気で取り組んでいた人が3年生は多かったです。応援練習は6回ありましたが、150人の生徒をまとめるのは難しかったです。しかし、みんなの協力もあり、良い応援を作り上げることができました。本番では全競技で全員が全力を出すことができました。結果、青組は応援・総合とも3位で、とても悔しかったですが、副団長の松永君や応援団員の支えがあり、とても良い仲間をもったと思います。ありがとうございました。合唱もがんばろう！



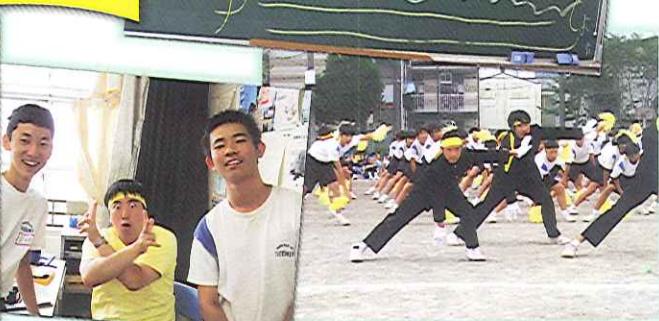
黄組団長 佐藤 亘

ぼくが今年の体育祭を振り返って思うことは、黄組のみんなや応援団の人達が本当によくがんばってくれたということです。今回の体育祭で、ぼくは団長だけでなく、騎馬戦の大将や選抜リレーのアンカーなど色々な場面で重要なポジションを任せされました。自分一人に重い責任があるようで大変でしたが、実際は仲間や先生方の協力があり、本番で優勝することはできなかったけれど、素晴らしい体育祭になったと思います。今回の体育祭でぼくは協力の大切さを改めて学ぶことができました。黄組のみんな、本当にありがとうございました！



2年全体
(学年対抗リレー)

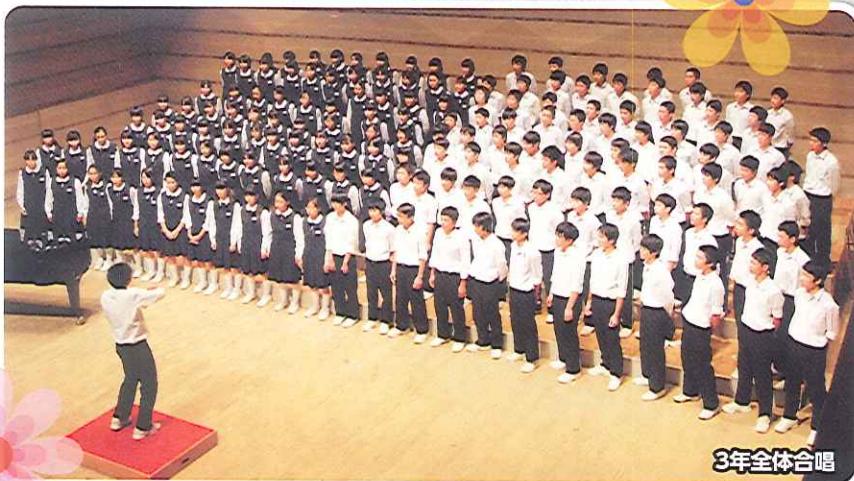
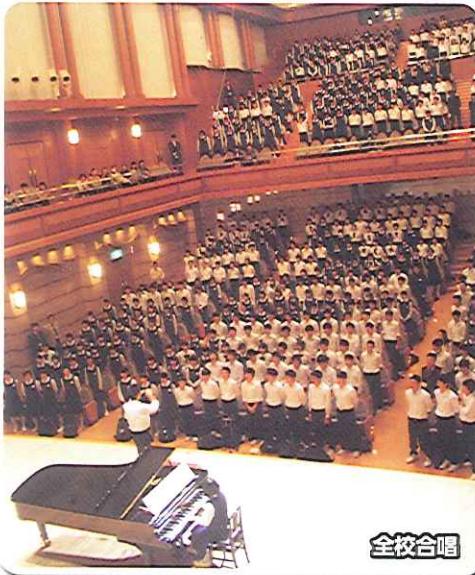
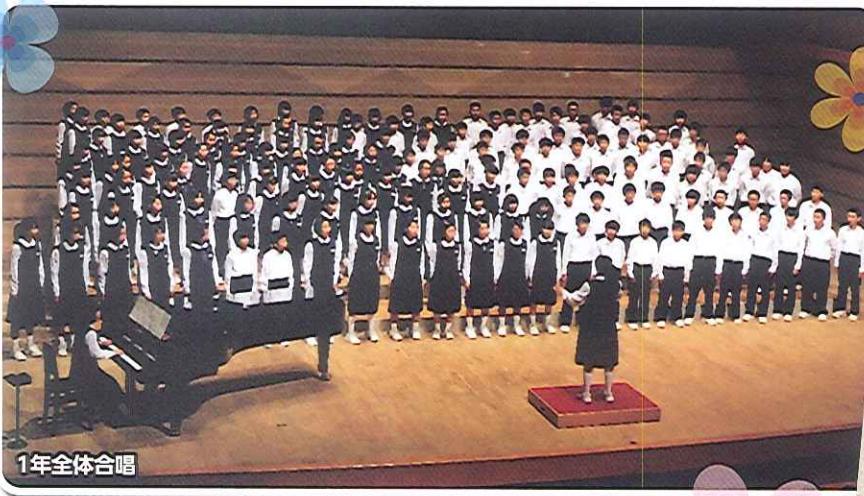
かけめぐれ3色の奇跡



11月11日(火)

合唱発表会

静岡音楽館AOIにおいて、平成26年度の合唱発表会が開催されました。
小雨のなか、たくさんの保護者の方々にお越しいただきました。
AOIのホールいっぱいに、子どもたちのすばらしい歌声が響きわたりました。



奏でようぼくらのメロディー
咲かせよう 15の花

プログラム

1年の部 3組 「この星に生まれて」

1組 「君をのせて」

4組 「旅立ちの時」

5組 「明日へ」

2組 「大切なもの」

学年合唱 「Let's search for Tomorrow」

2年の部 2組 「この地球のどこかで」

3組 「虹」

1組 「心の瞳」

4組 「ヒカリ」

5組 「時の旅人」

学年合唱 「HEIWAの鐘」

3年の部 2組 「言葉にすれば」

5組 「はじまり」

3組 「手紙」

1組 「YELL」

学年合唱 「モルダウ」

職員合唱 「証(あかし)」

「花は咲く」



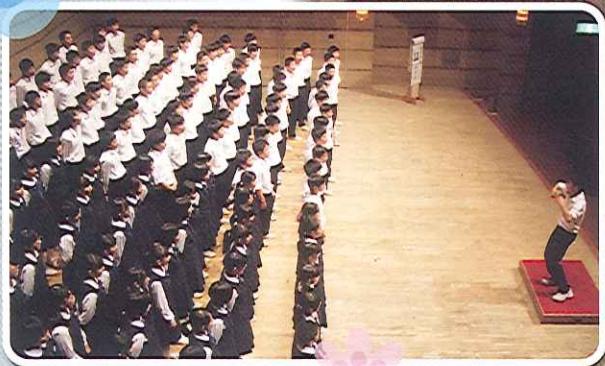


合唱委員長のあいさつ

私が一番印象に残っているのは、合唱発表会に向けての練習や準備です。合唱発表会の前は、クラスの練習をどう進めていくか話し合ったり、プログラム作りやりハーサルをしたりと、とても多忙な毎日でした。でも、そして精一杯頑張ったからこそ本番で悔いの残らない合唱ができ、今まで頑張ってきて良かったなと思いました。特に、学年合唱は歌っていて気持ちがよく、これまで一番良い合唱だったと思います。私は合唱発表会でみんなで協力して一つのものをつくる素晴らしいを感じ、みんなで合唱ができる機会を大切にしようと思いました。



合唱発表会
実行委員長
望月 あさ



職員合唱



部活動紹介

～各部長の抱負～

野球部

岸本 誠汰 12名

野球部は1年生6人、2年生6人計12人です。新人戦では、1回戦に勝ち、2回戦に負けてしまいました。夏の大会ではベスト4を目指しがんばります。

サッカー部

石原 大雅 24名

ぼくたちサッカー部は、中体連で県大会に出場できるように、日々練習をがんばっています。後悔しないように、最後まであきらめないで戦いたいです。

男子バスケットボール部

白鳥 翔大 16名

男子バスケット部の目標は、今まで手が届かなかった東海大会出場です。特に大きな選手がないので、シュート力とスピードと体力を武器に、チーム一丸となって頑張っています。

女子バスケットボール部

三寺 伽奈 12名

私達は1・2年生のコミュニケーションを高めるため、声を出し、練習中も教え合いながら取り組んでいます。このチームワークで中体連県ベスト8に入ることを目指しています。

男子テニス部

長島 凌弥 12名

2年生7人、1年生5人で活動しています。苦しい練習もありますが、みんな仲良く部活をやっています。みんなの目標は、県大会出場です。

女子テニス部

岩崎 風璃 18名

私たち女子テニス部は練習から一球一球大切にするということを心がけています。まだ課題はありますが、次の大会に向けて一つでも多く勝てるようにしたいです。

卓球部

長倉 大賀 35名

卓球部は男子21人、女子14人で活動しています。男女ともに、まとまって練習を行っています。仲がよくて、あいさつ、言葉づかいなど礼儀正しい部活を目指していきます。

男子バレー部

望月 桃吾 14名

ぼくたち男子バレー部は、練習試合で課題を見つけ、克服し、チーム力を上げることに取り組んでいます。大会で一回戦突破できるように日々努力しています。

女子バレー部

杉本 音色 17名

女子バレー部は、1年11人、2年6人で活動しています。練習試合では、1人1人が課題を持ち克服できるように頑張っています。次の大会では良い結果を残せるように頑張ります。

陸上競技部

孕石 大夢 22名

陸上部は、男子12名女子10名で活動しています。短距離・長距離・跳躍・投擲に分かれ取り組んでいます。陸上競技は個人種目ですが、部員全員で団結して頑張りたいです。

剣道部

長田 篤哉 25名

剣道部は男子16名女子9名で活動しています。練習はとても大変ですが部員同士が互いに励まし合いがんばっています。先輩達の成果を超えるようにがんばりたいです。

吹奏楽部

渥美 静 33名

吹奏楽部は1年生17人、2年生16人、計33人で活動しています。今年度の大会で銀賞と悔しい結果だったので、来年度は金賞を目指して基礎練習に力を入れています。

美術部

洞口 岳 25名

美術部では、季節に応じた絵を描いたり、キャラクターのイラストを描いたりしています。描いた絵は、北校舎2階の美術室前の水道場に飾られています。

家庭科部

張 伊賀 10名

家庭科部は、基本じんべいや浴衣などを講師の先生に教えてもらひながら作ります。毎週金曜日に活動しています。習い事などで忙しい人はぜひ入部して下さい。

浅間神社清掃ボランティア

11月17日

1年生のボランティア活動に、3年生が自発的に参加してくれ、浅間神社境内の清掃を行いました。落ち葉が多かった境内もすっかりきれいになりました。



吹奏楽部ボランティア (ディサービス)

11月29日

田町福祉ディサービスセンターにて、吹奏楽部の演奏会が行われました。懐かしい唱歌や校歌の演奏に、口ずさんだり、手を叩いたりしてくださいました。田町福祉ディサービスセンターのみなさま、ありがとうございました。



青少年健全育成大会

10月18日

講師に、小川文子氏をお迎えし「思春期の子どもとのつきあい方」をテーマにお話をさせていただきました。これからは子どもとのつきあい方を見直すよい機会になりました。その後、新通小シンフォニッククラブと末広中吹奏楽部の演奏が行われました。



静岡市PTA大会

11月22日

市民文化会館にて第12回静岡市PTA大会が開催されました。優良PTA会員、広報誌コンクールの表彰などのほか、宮本延春（みやもとまさる）氏の講演会が行われました。



クリーン大作戦

1月17日

クリーン大作戦では、普段生徒だけで手入れが行き届かない、清掃・補修とグラウンドの土入れをしました。短時間で効率よく作業が終わり、きれいに使いやすくなりました。お忙しい中ご参加いただいたみなさま、ありがとうございました。

部活動後援会長 工嶋 郁美



雨の資源回収

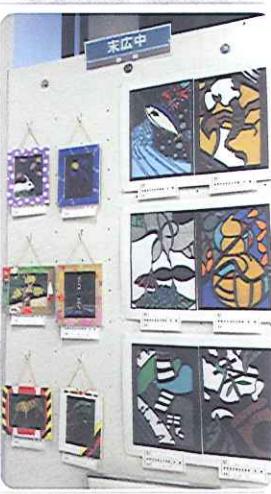
11月19日

資源回収の収益金は、65,030円でした。資源回収やバザーの収益金は特別会計の収益になり、部活等の生徒派遣費や防災用の備蓄品等に支出しています。



第13回

静岡県中学校総合文化祭



11月25日

雨の参観会

雨のため、体育は室内になりました



これは何？デューク更家！
「恥ずかしいよ～」

さあ！みんなで考えてみよう！

丁寧な作業と光るセンスを感じます

がんばったで賞



リコーダー 全国大会出場

2年1組小杉彩香さん、2年4組高柳夏菜さん、2年4組福地美結さん、2年5組渡邊梓さんが3月29日に東京で行われる、リコーダーの全国大会に出場します。

聴衆の胸にこたえる演奏を期待しています。



広報すえひろ

平成26年度広報誌コンクール中学校の部市優秀賞みごと入賞しました。

学年委員会

学年委員会は、学校と保護者の橋渡し役となり、先生方と情報交換や話し合いを行い、より良い環境の中で子どもたちが健やかに成長できるよう、活動しています

3年学年委員長 藤浪 日登美

母親委員会

母親委員は、近隣の学校と、子供達や学校の様子などの情報を交換したり、研修会や講演会に参加し、子供達の健全育成の為に活動しています。とても楽しい委員会です。

母親委員 小杉 明世 曽根 祥子

校外育成委員会

朝の声かけは、南門と通用門の2か所で「おはようございます」と挨拶を行っています。夜間巡回は、安西、番町、新通の3地区に分け見回りを行っています。どちらも各クラスの委員の方には年に1回ずつお願ひしています。

校外育成委員長 大朏 美和子

各委員長より

広報委員会

読みやすく、みなさんに楽しんでもらえる「すえひろ」を作るために、ワイワイガヤガヤ編集作業をしています。取材や企画編集作業を通じて保護者同士もつながりができました。委員の方には年に1~2回企画編集作業と取材をお願いしています。

広報委員長 山田 陽子

受け継ぐもの PTA会長 浦田 郁乃

今年度もPTAにご理解、ご支援を賜りありがとうございます。皆さんのご協力を得て子どもたちに活きる活動ができました。また、今年度は体育館修復工事があり、行事が春に重なりご無理なスケジュールをこなしていただきたり、部活動後援会の皆様にも多大なご尽力をいただきました。心より感謝申し上げます。

価値観が多様化し情報社会の今日、この多感な子どもたちを健やかに成長させる為には、学校と家庭が手を取り合い全員で末広の子どもたちを見守り支えていく心意気が必要だと考えます。私もそうですが親として全く未熟です。大人ゆえに自分の考えや見栄に捕われ現実の状況を受けとめる事ができない場合もあります。子どもを見守るはどうすることなのか、子どもと向き合う姿勢はどうなのか、自分ではなかなか考え方を切りかえる事ができません。だから保護者同士で情報を共有する、学校に行き子どもたちを見る、先生と話をすることがとても大切になってくるのではないかでしょうか。

末広中の生徒は、とても素直で、優しく、実直です。3年生の成長は、保護者の誇りです。先生方の日々のご尽力には言葉で表せないほど感謝しております。私たちは3年間で卒業します。何年も何十年も末広の子どもたちを見守ってくださっている学校近隣の皆様には心からお礼申し上げます。近隣の皆様、地域の皆様、関係各位の皆様に深謝申し上げ、これから末広中の子どもたちの健全育成を願い、私の挨拶とさせていただきます。



のりしろのある関係

校長 宮村 典雄

PTAのルーツは、「1897年、アメリカで二人の女性により自発的に結成された」、「その本旨は保護者と教員が学び合うことで、その成果を児童生徒に還元することである」とフリー百科事典ウイキペディアに書かれています。

本校でも、浦田郁乃PTA会長様を筆頭に、役員の皆様の献身的な活動にはいつも頭が下がる思いです。四月の総会から始まり、バザー、資源回収、バルーンバレー大会、講演会(学習会)、クリーン作戦等の大きな活動の実施に当たっては、準備から当日の運営、事後処理、報告まで考えると、その労力は相当なものでした。今年のように、体育館が五ヵ月にも及ぶ改修工事で使用不能という状況下であれば、なおさら、そのやりくりはたいへんなものであつただろうと感じています。共働き、ひとり親家庭、介護に携わる家庭等が増えるなど、誰もが時間的、精神的な余裕がなくなっていく中、活動の原動力となっているのは、強いボランティアの精神だと思います。

一方、日々の教育活動を進める中で、PTA役員の皆様は、私にとって大きな支えであり、同志でもあると感じています。迷ったり、自信をなくしたり、不安に思ったりした時に、相談にのってもらったり、愚痴を聞いてもらったり、応援をしてもらったりしたことが、何度もありました。しかし、決して一線を越えず、教員の領域まで土足で踏み込んでくるようなことはありません。良識ある、節度ある対応がいつもそこにはあります。うれしく、頼もしい存在です。

PとT、お互いにのりしろをもって手を携えて子どもたちを育てていく、そんな関係が続くことを願っています。本誌『すえひろ』で、子どもたちの育ちを共感しましょう。



平成26年度広報委員会

1年 原田純代	杉原和子	近藤みちる	山本智代	吉沢亜紀子
2年 八木千佳子	長田久美子	勝見道乃	山田陽子	関澤由紀子
3年 後藤宏美	野村君江	相川多咲	松永小百合	杉本愛

学校顧問 伊東康子 長谷川洋子
編集 静岡市立末広中学校PTA広報委員会
発行 静岡市立末広中学校PTA

編集後記

一年間の「すえひろ」取材を通して、学年を超えて生徒たちの成長を感じることができました。発行までの作業は、ドタバタする場面もありつつ、委員全員で協力し合って作成しました。堪能して頂ければ幸いです。